

防災まちづくり談義の会



関東大震災から百年

～写真や絵葉書で知る横浜の記憶～

現地会場 参加+ZOOM オンライン参加 併用 (会員以外の方は要申込下記参照)

2023年5月26日(金) 15:00~16:15 (談義オンライン入室 14:50~)

会場:桜木町 ぴおシティ6階【さくらリビング】第1研修室

住所:住所:〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1丁目1

【講演要旨】

大正関東大震災から百年たった今、社会が大きく変わりましたが、求められる防災対策(地盤、耐震、火災)は変わりません。昔と今の大きな違いは、当時の横浜は旧居留地面積が市域の半分を占め、土砂災害や火災被害の未調査地域ですので、震災の全貌が捉えきれていません。同時多発火災による火災旋風については、旧東京市墨田区の被服廠跡の避難場所のリスクが指摘されています。

横浜でもほぼ同時帯に周辺で火災旋風が発生したが、6万人が紙一重で助かったとされる横浜公園では、詳細な調査が行われておらず、災害の本質的議論が必要です。震災、戦災と2度の災害体験を経て再び活気ある横浜が戻りましたが、現代の災害を考えたとき、火災リスクや崖地に建つ住宅周辺での土砂災害対策などを、当時の写真や絵葉書などの非文字資料を基に考え、過去から未来の災害を見通す、防災まち歩きを提案します。



講師:相原延光 氏

元神奈川県立教育センター研修指導主事 元神奈川地学会会長
現「防災塾・だるま」理事



- 第1部:通常総会 13:30~14:30
 - 第2部:基調講演 15:00~16:15「関東大震災から百年」
 - 第3部:防災サロン 新会員紹介・談義の会感想等
- 会場:桜木町ぴおシティ6階【さくらリビング】第一研修室

主催 「防災塾・だるま」 HP <http://darumajin.sakura.ne.jp>
対象 本会会員・一般 受講料無料 (資料必要な方 100円~300円)
参加方法 会員 現地または Zoom 参加 (会員 ML で設定を配信) 会員以外の方は下記のリンクから、会場参加・リモートの選択をし、参加申し込みをしてください。折り返し Zoom 設定の案内をお送りします (資料の内容は、HP でほぼ参照できます)

申し込み
フォーム

「防災塾・だるま」第191回 防災まちづくり談義の会 申し込みフォーム (会員以外の方の申込み docs.google.com)



ぴおシティ
【さくらリビング】
QRコード

次回:第192回「防災まちづくり談義の会」議題:「在宅避難とお隣場活動」講師:松島 宗 氏
日時:2023年7月21日(金) 15:00~16:15 会場:青少年育成センター第2研修室